特集 2

第12回
大分県ビジネスプラングランプリ決定!!

今年度の受賞者。写真左から(株)ドリームプロモーションの津田剛代表取締役、
(株)旅館ホテルクリーンの立石一夫代表取締役、姫野清高・大分県産業創造機構理事長、
広瀬勝貞・大分県知事、イジゲン(株)の鶴岡英明代表取締役、(有)紅屋の加藤崇之代表取締役

2015年2月25日(水)、「おおいたものづくり王国総合展2015」が開催されているビーコンプラザの中会議室で、大分県と当機構が主催する「第12回大分県ビジネスプラングランプリ」の表彰式が行われた。「県内産業の活性化」「ベンチャー企業の創出」と2本のテーマを掲げ、2003年から実施されている本事業は、これまで44社の受賞企業を選出してきたが、受賞企業のうち約6割が売上高を伸ばすなど順調に成長しているという。

今年度は総数49件もの応募があり、1次の書類選考、2次のプレゼンテーションを経て選考。最優秀賞はイジゲン(大分市)、優秀賞は旅館ホテルクリーン(別府市)、奨励賞は紅屋(日田市)、ドリームプロモーション(大分市)と、計4社のプランに決定した。今後の活躍ぶりが期待される各社プランの紹介と、同日行われた株式会社浜野製作所の浜野慶一代表取締役の講演会「下町・町工場奮闘記」をお届けする。

審査員講評

グランプリ創設当初はIT関連の応募が中心だったが、近年は大分の特性を活かしたプランが増えてきており、非常に面白い傾向。結果的に今回の受賞プランも多様性に富んでおり、バランスの取れた結果だと認識している。残念ながら現時点で上場まで辿り着いた受賞企業はないが、今年度の受賞プランはヒットすれば大きく、成長性に期待が持てるものばかり。

最優秀賞を受賞したイジゲンのAIRPO(エアポ)は、新しい無線技術を利用したソーシャルサービスを地場ビジネスに結びつけたプラン。地域のコミュニティとともに、今後どう展開していくかが楽しみ。優秀賞のホテルクリーンは、清潔・安心・安全を提供するサービスで、東京オリンピックを前に、県内はもとより国内の観光業界で注目されることに期待したい。奨励賞の紅屋は地場である日田市ならではのビジネスで、過去にも応募があったが、今回はより完成度を高めたプランであった。もうひとつの奨励賞、ドリームプロモーションは、昨今の子どもを取り巻く環境に対する解決方法を、どうビジネスにつなげていくかの一つのアプローチとして注目した。

それぞれタイプの異なる4社だが、いずれも地域と一体になって成長していく要素が濃いことが今年度の特徴。各社が今後どう展開していくかに期待したい。

(大分県ビジネスグランプリ　ベンチャー目利き委員長　安延申氏の講評から抜粋)

テーマ

優秀賞

安眠・快眠をご提供！ 寝具のハウスダスト・害虫除去サービス「クリーンライブ方式」の事業拡大

独自開発の加熱機で寝具の湿気を飛ばし、繊維をほぐす

乾燥し、ほぐれた繊維から超振動機器によりダスト、ダニを吸引

●会 社 名　株式会社 旅館ホテルクリーン
●代 表 者　代表取締役　立石　一夫
●所 在 地　別府市北浜2-10-19
　　グランメール3F
　　TEL.097-532-4649
●事業内容　寝具メンテクリーニング
●URL　http://www.rh-clean.com

《プランの概要》

・新しい寝具のハウスダスト除去＝クリーンライブ方式
　《第一段階》　寝具の加熱：独自開発の加熱機で加熱（6分～10分）
　《第二段階》　振動吸引：加熱してほぐれた寝具を特殊なクリーナーで吸引（4分～8分）
　《第三段階》　除菌消臭：人畜無害な次亜塩素水にて除菌消臭
　《第四段階》　確認納得：取れたハウスダストの確認と結果を納得していただく

・定期ケアを望んでいた旅館ホテル、外干しできない一般家庭への熱い期待に対応できる画期的な寝具ケア方法。安全で安心、しかもスピーディ、さらに安価な対応（布団上下1セット1,500円～）
・介護用ベッド等にも対応できる福祉事業。簡単な作業で、雇用促進にも貢献し、アレルギー軽減策としての処方箋として提案。対象は、全国5,400万世帯、総人口1億2,800万人。大分発の全国展開可能な生活必須サービスを目指す。

■解 説

株式会社旅館ホテルクリーンは、旅館・ホテルの寝具のハウスダスト除去を手掛ける会社。室内のダニやホコリなどのハウスダストによるアレルギー症状対策は、健康志向が増す近年においてますます注目を集めており、とりわけ一日の1/3を占める睡眠時間を快適に過ごす上で欠かせない寝具には、徹底した衛生管理が理想とされる。

同社のクリーンライブ方式とは、独自開発の加熱器を現場に持ち込み、寝具を「加熱」→「振動吸引」→「除菌消臭」→「確認」の4段階により、寝具のハウスダスト除去サービスを提供するものである。同種の寝具ケアサービスでは見られない「加熱」「振動吸引」のステップが含まれている点が特徴で、薬品を一切使用しない定期的なハウスダスト除去がセールスポイント。これにより、寝具が本来有している保温性・防音性・弾力性等も保たれ、利用者に快眠を提供できる。現時点では同社スタッフによる施工が主流であるが、将来的には旅館ホテルの従業員が自ら施工するレンタル方式を主流にすることを計画。さらに個人宅への拡大も狙っており、背景にある市場は大きい。

同社では3年後の計画として大分県内150軒の旅館ホテル（シェア25％強）、個人宅500軒以上の契約を目標に掲げている。観光県・大分のキーワード「温泉」「料理」に、いずれ「快眠」が加わるかもしれない。